

「防災」備えは、あなたや家族、救助にあたる人など多くの人の命を守ることに繋がります。

# 備えていますか？

# 備えよう

自然災害に

大雨による甚大な被害が日本各地で発生しています。いつ起きてもおかしくない自然災害から命を守るために。災害への備えについて市消防本部に聞きました。

災害時の行動の基準となる警戒レベル

## Action 01 防災を家族で考える

- Q1 家の周辺に危険な場所はありませんか？
- Q2 避難方法と避難場所が分かっていますか？
- Q3 浸水想定区域と土砂災害警戒区域を理解していますか？
- Q4 平日に避難発令。家族はどう行動しますか？



「防災マップ」「暮らしの便利ガイド」や本年4月に配布済の「遠野市土砂・浸水ハザードマップ」などを活用し、家族で確認する機会を作りましょう

## Action 02 3日分の備蓄

備蓄食料の量は、最低3日分が目安とされています。災害発生直後は、食料や日用品が買えない場合も。家族で過ごすのに必要な量を準備しましょう。

- ☑ 水や食料など(人数分)  
水は1人1日3ℓが目安。卓上コンロやガスボンベも推奨。常備薬など無いと困る物も確認しましょう。

## Action 03 非常袋を作る

非常時にすぐ持ち出せる「非常袋」を、1人一つずつ、必要な物を考えて普段から用意しておきましょう。使わなくなったリュックや収納ケースを使って作るのもおすすめです。

- ☑ 新型コロナ対策物品も！  
▶マスク▶手指消毒用アルコール▶せっけん▶体温計▶スリッパ▶敷布団(必要な場合)——など



**レベル5**  
命を守る行動  
災害が発生し、危険な状況。命を守る最善の行動を！

**レベル4**  
全員避難！  
対象地域の人は全員、危険な場所から速やかに避難を！

**レベル3**  
避難開始  
避難に時間のかかる高齢者や障害のある人などは、避難開始。

**レベル2**  
避難行動確認  
避難先や、持っていく物など避難行動を確認してください。

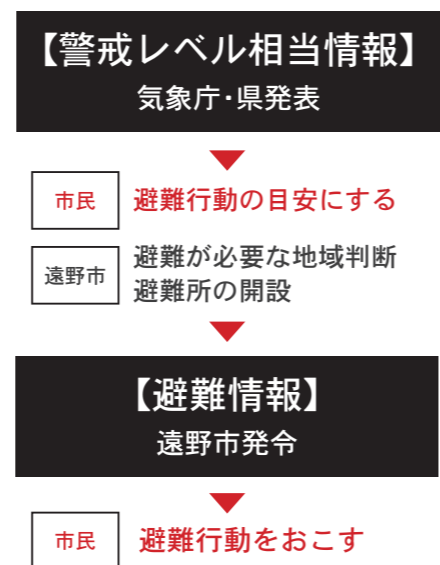
**レベル1**  
心構えを高める  
情報を確認しつつ、災害への心構えを高めましょう。

## 「警戒レベル3～5」で避難求める「避難情報」は市が発令

市民の皆さんが実際に避難行動をおこすうえで重要になる情報は、市(自治体)が発令する「避難情報(警戒レベル3～5)」です。

同情報に似たもので、気象庁と県が発表する「警戒レベル相当情報」があります。これは、市民の皆さんの「避難の目安」となるものです。

同相当情報が遠野市に発表された場合に、市は地域のさまざまな状況から避難が必要な地域を判断。必要に応じて避難所を開設し、警戒レベル3～5の「避難情報」を発令します。



写真\_平成28(2016)年8月30日に上陸した台風10号がもたらした豪雨により、激しい濁流が国道に越水。一面が川と化した当時の様子。

## 命を守るために。



市消防本部消防総務課 危機管理係長 英幸 昆

日本各地で豪雨による甚大な被害が発生しています。いつ、どこで、何が起こるか分からないのが自然災害です。例年9月に開催している市防災訓練は、新型コロナウイルス感染防止の観点から実施を見送りました。訓練は行いませんが、家族で災害への備えを考えてほしいと思います。大雨や地震の時に危険な場所は？避難場所・方法は？避難時に持ち出すものは？いざというときに冷静に行動するために確認・準備しておくべきことがたくさんあるはず。避難所での新型コロナウイルス対策も重要になります。市では、マニュアルを作成し、部屋を

分けるなど感染予防に配慮した避難所運営を訓練しています。有事の際は迷わず避難してください。市民の皆さんにはマスクや石けんなどを携行してもらえると幸いです。避難所以外に避難する方法もあります。▽安全な場所での車中避難▽親戚や友人宅などへの縁故避難▽建物の上を逃げる垂直避難——なども方法のひとつです。災害が大きくなればなるほど、支援の手が遅れる可能性がります。災害時に命を守る砦となるのが「自助」。自らの助けです。自らの命を自ら守るために必要なことは何か。日常的に考えましょう。